

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月11日

上場取引所 東大

上場会社名 タイガースポリマー株式会社

コード番号 4231 URL <http://tigers.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澤田 博行

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 渡辺 健太郎

TEL 06-6871-8060

四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	8,243	—	356	—	410	—	189	—
20年3月期第1四半期	8,362	12.3	530	9.5	576	11.9	309	11.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	9.44	—
20年3月期第1四半期	15.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	28,559	20,042	20,042	68.1	68.1	972.03
20年3月期	29,682	21,042	21,042	68.7	68.7	1,019.20

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 19,456百万円 20年3月期 20,401百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	17,000	△1.0	800	△15.9	800	△22.4	450	4.3	22.48
通期	35,000	0.2	1,800	△0.1	1,810	△0.4	1,000	24.9	49.96

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 20,111,598株 20年3月期 20,111,598株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 94,791株 20年3月期 94,534株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 20,016,901株 20年3月期第1四半期 20,018,433株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 業績予想(平成20年5月15日発表)の見直しは行っていません。

2. 当資料に記載の業績予想は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成20年4月～平成20年6月)におけるわが国経済は、原油価格の高騰、米国経済の減速の影響により企業収益が減少し、設備投資が低迷するなど、景気回復は足踏み状態となりました。

このような環境の下、当社グループの当第1四半期の業績は、原材料価格の高止まり及び為替変動等の影響を受けることとなり、売上高82億43百万円(前年同期比1.4%減少)、営業利益3億56百万円(前年同期比32.7%減少)、経常利益4億10百万円(前年同期比28.9%減少)、四半期純利益1億89百万円(前年同期比39.0%減少)と減収減益となりました。

部門別の状況

ホース部門は、国内では家電用ホースが増加しましたが、産業用ホースは住宅用ホースの不振により減少しました。海外では、米国で生産する産業用ホースが円高による為替の影響により減少したほか、マレーシア及び中国で生産する家電用ホースが減少しました。この結果、ホース部門全体の売上高は、21億41百万円(前年同期比8.4%減少)となりました。

ゴムシート部門は、玄関用マットは増加しましたが、ゴムシートは国内の設備投資の低迷により減少しました。この結果、ゴムシート部門全体の売上高は、13億60百万円(前年同期比0.1%減少)となりました。

成形品部門は、主力の自動車部品が海外では円高による為替の影響を受けましたが、国内外ともに好調に推移しました。この結果、成形品部門全体の売上高は、44億34百万円(前年同期比1.4%増加)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%減少し、156億88百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少3億22百万円、受取手形及び売掛金の減少2億57百万円等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.7%減少し、128億70百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の減少7億84百万円等によるものであります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%減少し、285億59百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、73億54百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加3億円、未払金の減少2億17百万円、賞与引当金の減少2億7百万円等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.3%減少し、11億62百万円となりました。主な要因は、その他の固定負債の減少1億51百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.8%減少し、200億42百万円となりました。主な要因は、為替換算の影響による為替換算調整勘定の減少10億93百万円等によるものであります。この結果、1株当たり純資産は972円03銭、自己資本比率は68.1%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、資金という。)は、前連結会計年度末に比べ4億25百万円減少(前期比9.6%減少)し、当第1四半期連結会計期間末には39億99百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、3億32百万円(前年同期比44.6%減少)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益3億26百万円、減価償却費4億98百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額2億33百万円、法人税等の支払額1億40百万円等であります。

投資活動の結果支出した資金は、7億17百万円(前年同期比20.1%減少)となりました。支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出3億16百万円、有形・無形固定資産取得による支出4億58百万円等であります。

財務活動の結果得られた資金は、1億77百万円(前年同期比47.3%減少)となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の借入3億円であり、支出の主な内訳は、配当金の支払額1億20百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計基準等の改正に伴う変更)

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産については、従来、主として原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として原価法(貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法)により算定しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、税金等調整前四半期純利益は90百万円減少しております。

③ 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。なお、この変更による損益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,011	5,333
受取手形及び売掛金	7,220	7,478
商品	292	254
製品	1,219	1,179
原材料	1,010	955
仕掛品	234	264
貯蔵品	93	94
繰延税金資産	211	294
その他	412	352
貸倒引当金	△ 19	△ 30
流動資産合計	15,688	16,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,477	3,793
機械装置及び運搬具	3,779	4,193
工具、器具及び備品	780	860
土地	1,494	1,536
建設仮勘定	1,107	1,041
有形固定資産合計	10,640	11,425
無形固定資産	274	293
投資その他の資産		
投資有価証券	1,645	1,509
繰延税金資産	51	55
その他	269	231
貸倒引当金	△ 11	△ 11
投資その他の資産合計	1,955	1,785
固定資産合計	12,870	13,505
資産合計	28,559	29,682

	(単位：百万円)	
	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,753	3,852
短期借入金	1,150	850
1年内返済予定の長期借入金	300	300
未払金	1,135	1,352
未払法人税等	82	165
賞与引当金	148	355
役員賞与引当金	10	39
その他	775	496
流動負債合計	7,354	7,412
固定負債		
長期借入金	150	150
退職給付引当金	562	499
役員退職慰労引当金	234	230
繰延税金負債	117	97
その他	98	250
固定負債合計	1,162	1,227
負債合計	8,516	8,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,149	4,149
資本剰余金	3,900	3,900
利益剰余金	11,452	11,383
自己株式	△ 50	△ 50
株主資本合計	19,452	19,383
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	430	350
為替換算調整勘定	△ 425	667
評価・換算差額等合計	4	1,017
少数株主持分	585	640
純資産合計	20,042	21,042
負債純資産合計	28,559	29,682

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
売上高	8,243
売上原価	6,664
売上総利益	1,579
販売費及び一般管理費	1,222
営業利益	356
営業外収益	
受取利息	8
受取配当金	20
不動産賃貸料	6
為替差益	3
その他	20
営業外収益合計	59
営業外費用	
支払利息	4
不動産賃貸原価	1
その他	0
営業外費用合計	6
経常利益	410
特別利益	
貸倒引当金戻入額	10
特別利益合計	10
特別損失	
固定資産除却損	3
たな卸資産評価損	90
特別損失合計	93
税金等調整前四半期純利益	326
法人税、住民税及び事業税	72
法人税等調整額	37
法人税等合計	110
少数株主利益	26
四半期純利益	189

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	326
減価償却費	498
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 9
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 26
受取利息及び受取配当金	△ 28
支払利息	4
為替差損益 (△は益)	△ 15
固定資産除却損	3
売上債権の増減額 (△は増加)	41
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 233
仕入債務の増減額 (△は減少)	48
その他	△ 163
小計	446
利息及び配当金の受取額	28
利息の支払額	△ 1
法人税等の支払額	△ 140
営業活動によるキャッシュ・フロー	332
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△ 316
定期預金の払戻による収入	180
有価証券の取得による支出	△ 81
有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 458
投資有価証券の取得による支出	△ 1
その他	△ 40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 717
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	300
自己株式の取得による支出	△ 0
配当金の支払額	△ 120
少数株主への配当金の支払額	△ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	177
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 217
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 425
現金及び現金同等物の期首残高	4,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,999

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年6月30日）

当グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の各種部品及び部品素材の製造を業とする単一事業ですので、開示の対象となるセグメントはありません。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年6月30日）

（単位：百万円）

	日 本	米 国	ア ジ ア	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
a. 外部顧客に対する売上高	5,094	2,130	1,018	8,243	—	8,243
b. セグメント間の内部売上高又は振替高	264	1	209	475	(475)	—
計	5,359	2,131	1,227	8,718	(475)	8,243
営業利益	33	37	149	221	135	356

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域 アジア …… タイ、マレーシア、中国

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年6月30日）

（単位：百万円）

	北 米	ア ジ ア	計
I 海外売上高	2,128	1,034	3,163
II 連結売上高			8,243
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	25.8	12.6	38.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

北 米 …… 米国、カナダ

ア ジ ア …… タイ、マレーシア、中国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(単位：百万円)

科 目	平成20年3月期 第1四半期
I 売上高	8,362
II 売上原価	6,606
売上総利益	1,756
III 販売費及び一般管理費	1,226
営業利益	530
IV 営業外収益	50
1 受取利息	14
2 受取配当金	15
3 不動産等賃貸料収入	6
4 為替差益	7
5 その他	7
V 営業外費用	4
1 支払利息	1
2 不動産等賃貸料原価	1
3 その他	1
経常利益	576
VI 特別利益	4
1 固定資産売却益	0
2 投資有価証券売却益	4
VII 特別損失	17
1 固定資産除却損	17
税金等調整前四半期純利益	564
税金費用	216
少数株主利益	38
四半期純利益	309

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(単位：百万円)

区 分	平成20年3月期 第1四半期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	564
2 減価償却費	467
3 貸倒引当金の増減額	0
4 受取利息及び受取配当金	△ 29
5 支払利息	1
6 売上債権の増減額	180
7 たな卸資産の増減額	△ 34
8 仕入債務の増減額	18
9 その他	△ 151
小計	1,015
10 利息及び配当金の受取額	29
11 利息の支払額	△ 1
12 法人税等の支払額	△ 444
営業活動によるキャッシュ・フロー	600
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金の増減額	△ 305
2 有形・無形固定資産の取得による支出	△ 582
3 有形・無形固定資産の売却による収入	0
4 投資有価証券の取得による支出	△ 19
5 投資有価証券の売却による収入	8
6 その他	△ 0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 898
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の増減額	500
2 配当金の支払額	△ 160
3 その他	△ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	337
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	5
V 現金及び現金同等物の増減額	44
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,226
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	5,270

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

当グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の各種部品及び部品素材の製造を業とする単一事業ですので、開示の対象となるセグメントはありません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

（単位：百万円）

	日 本	米 国	ア ジ ア	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
a. 外部顧客に対する売上高	5,107	2,212	1,042	8,362	—	8,362
b. セグメント間の内部売上高又は振替高	412	1	122	536	(536)	—
計	5,519	2,214	1,164	8,899	(536)	8,362
営業利益	229	48	165	443	86	530

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域 アジア …… タイ、マレーシア、中国

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

（単位：百万円）

	北 米	ア ジ ア	計
I 海外売上高	2,201	1,067	3,269
II 連結売上高			8,362
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	26.3	12.8	39.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

北 米 …… 米国、カナダ

ア ジ ア …… タイ、マレーシア、中国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。